

2015 年
入試用

学校説明会レポート



東邦大学付属東邦中・高等学校

日時 2014 年 6 月 26 日 (木) 10 時 30 分～11 時 50 分
所在地 千葉県習志野市
会場 視聴覚大ホール
対象 塾
出席者数 約 80 名
配付資料 学校案内、説明会資料、募集要項（前年度）、入試問題など

説明会の概要

あいさつ

校長：小高先生 10：30～10：45

- 少子化に向けて、私立の中学入試はどうなっていくのでしょうか？私学では教育の質が重要となってくると考えます。本校は、自立心を持って主体的に取り組んでいく生徒をサポートするプログラムがあります。創立以来の教育の根幹に基づいて、リベラルアーツ型の教育を行っていきます。
- 2017 年入試より高校の募集を停止し、完全中高一貫校となります。教育内容の精選・体系化を行い、中学・高校のつながりを考えて一貫化していきます。学年団が生徒の成長を見守り、後押ししていきます。現在の中 1 からは、高 2 からのゆるやかなコース分けを行う予定で、現役での大学進学を目指しています。文武両道の教育は継続していきます。

進路指導

進路：廣瀬先生 10：45～10：55

- 2014 年春の大学合格実績では、東大へ 5 人（現役 4 人）と 2 ケタに届きませんでした。医学部では、国公立大 17 人（現役 7 人）、私立大 50 人（現役 28 人）、東邦大への推薦で 10 人という結果です。現高 2・3 年の外部模試などの成績状況は良く、次年度以降の大学入試の結果につながっていくと思います。
- 進路指導としては、卒業生の体験談を聞く「進路ガイダンス」、高 1 での「大学見学会」、東邦大の協力のもとに行われる「学問体験講座」などが実施されています。新しい試みとしては、東邦大佐倉病院において、医学部での臨床体験「ブラックジャックセミナー」が行われます。

教科指導と入試

10:55~11:28

＜国語＞飯島先生

- 中学：45 分で、語彙力、読解力、表現力を問います。問題は、①説明的文章、②文学的文章です。
- 高校：50 分で、構造の把握、分析的な読み取り、的確な表現力を問います。問題は、①評論文、②小説、③古文です。

＜数学＞樺山先生

- 中学：45 分で、大問6～7題、小問 18 問くらいです。2014 年の全体的な正答率は、前期が5割強、後期が6割となっています。大問の前半の問題を取りこぼさないことが大切です。
- 高校：大問6題、小問 18 問程度です。2014 年は、前期・後期ともに大問1での正答率にばらつきがありました。

＜理科＞石戸先生

- 授業は、実験重視で行われ、十分な設備があります。
- 4分野から出題され、時事問題にもふれます。知識を問う問題だけでなく、計算・応用まで解けるようにしてください。

＜社会＞加藤先生

- 基本的な知識・理解のほか、多面的な見方・考え方を問います。また、社会的な課題についてもふれます。地図・グラフ・図・写真などを多用します。記述・論述問題を採用しています。時事問題や社会的動向にも関心を持って臨んでください。

＜英語＞林先生

- 前期のみリスニング（約7分）があります。
- 2014 年の受験者平均は、前期 58.1 点、後期 62.2 点でした。
- 配点の大きい読解問題をしっかり得点できるかどうか合否の分かれ目です。速読力がカギとなり、記述式の正答率が合否の差となります。

2014 年入試結果

副校長：御喜先生 11:28~11:43

＜中学＞

- 現在の中1は1クラス多い状況です。入学者の人数には、年によるばらつきがあります。入学者説明会で入学者数がほぼ決定し、状況によっては繰り上げの連絡をする可能性があります。

あります。ここ3年間繰り上げはありませんでした。

- 例年、得点の差は算数でついています。

《高校》

- 前期専願で20人、前期併願で58人、後期で20人が入学しました。数学で差がついています。

2015 年生徒募集

広報：上野先生 11：43～11：50

- 【変更点】 なし
- 2014年からWeb上の入力が必要となりました。2017年入試より高校での募集を停止しますが、中学での募集内容に変更はありません。
- 高校前期の専願は、志望理由書が必要です。英検2級以上、模試偏差値70以上、部活動実績、ボランティアなどでの加点があります。帰国生（帰国後2年以内）は、ボーダー付近で10点程度の加点優遇があります。

学校周辺の環境

（※学校以外で実施の場合は無記入）

- 近くに東邦大、日大がある文教地区です。

交通

- 京成線 京成大久保駅から 徒歩約10分
JR 総武線 津田沼駅から バス約15分